



林業2017ゼロ災運動

実施期間 平成29年1月1日から12月31日

スローガン

予知の目で 早めに摘み取る 危険の芽

本スローガンは、平成29年度林材業労働災害防止協会の労働安全標語の入選作品です。

「林業2017ゼロ災運動」実施要綱(抄)

趣旨

林業の労働災害は減少しつつあるが、労働災害の発生頻度を示す年千人率は、全国平均の約2倍であり、他産業に比べて高水準となっている。このような状況を踏まえ、平成29年の1年間を通じ関係者が一丸となった取組を推進することにより、各事業体において災害ゼロを目指し、業界全体として死亡災害を撲滅し、労働災害を大幅に減少させることを目的とする。

主唱者の実施事項

関係団体への実施事項の要請
本運動の広報
安全パトロール等の実施
林業安全大会の実施
協賛者及び事業者が実施する事項への協力

協賛者の実施事項

関係事業場への実施の周知
関係事業場の実施事項に関する指導援助
関係事業場に対する安全パトロールの実施
主唱者が実施する事項への協力

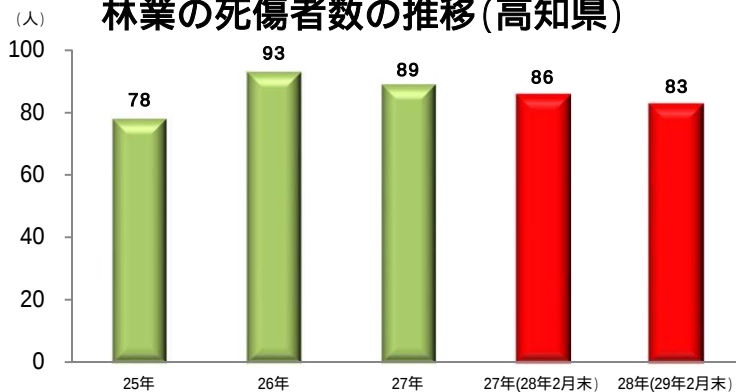
事業者の実施事項

経営トップによるゼロ災宣言の実施
安全方針の作成と周知
経営トップによる定期的な安全パトロールの実施
作業開始前ミーティング、KY活動、リスクアセスメントの確実な実施による危険の排除
指差し呼称の励行
防護性能、作業性能、視認性を考慮した安全保護具の装備と着用の徹底
雇入れ時、作業内容変更時の安全教育の徹底、災害多発作業に重点を置いた安全教育の徹底
安全大会、安全講習会の開催
その他安全意識高揚のための活動の実施

主唱者：高知労働局、労働基準監督署、高知県、林業・木材製造業労働災害防止協会高知県支部
協賛者：四国森林管理局、国立研究開発法人森林総合研究所森林整備センター高知水源林整備事務所、高知県森林整備公社、高知県森林組合連合会、四国森林管理局請負事業体連絡協議会、高知県素材生産業協同組合連合会、高知県小規模林業推進協議会

林業における労働災害発生状況

林業の死傷者数の推移(高知県)



労働者死傷病報告による災害統計

休業4日以上労働災害は、平成25年には過去最少の78人まで減少しましたが、平成26年に増加したものの、以降は減少傾向が続いています。

また、死亡災害は過去10年間で16人の方が亡くなっています。

死亡労働災害発生状況(平成25年以降・高知県)

発生日	発生状況
25.11.26	傾斜45度の斜面の現場において、伐倒木にワイヤロープを掛ける作業をしていた被災者が約34メートル転落した。
26.1.23	杉の間伐作業中、同僚が伐倒した杉(胸高直径28cm、長さ26.4m)が直撃した。
26.4.22	杉の伐倒作業中、上方に生えていた桜の枯木(胸高直径38cm、長さ16.5m)が、突然根こそぎ倒れ直撃した。
26.6.20	伐倒木の搬出作業で、機械集材装置で土場に全幹集材してきた杉(60年生、胸高直径52cm、長さ23m)を荷外し後、巻き上げの合図を行って移動中、巻き上げ途中の荷掛け用ワイヤロープに吊られた状態で残っていた杉が、横に振れ直撃した。
26.10.8	間伐現場で、作業道を開設するためドラグショベルで、杉(胸高直径28cm、長さ21m)の根元を掘りバケットで押し倒していたところ、当該杉が根こそぎ倒れ直撃した。
28.11.24	貯木場において、材木をフォークリフトで移動させた後、次の材木を移動させるため仮置場所へ後進していた時、近くにいた被災者に激突した。

事業所ぐるみで次のことを実行しましょう



1. トップの「ゼロ災宣言」
2. 作業開始前の「作業指示」及び「危険予知ミーティング」の励行
3. 指差し呼称の励行
4. リスクアセスメントの実施
5. 安全保護具の着用の徹底
6. 安全教育の徹底

「危険予知ミーティング」を励行しましょう

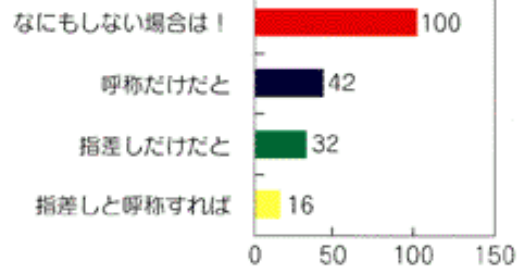
毎朝、作業現場において、その日の作業にひそむ危険を話し合い「これは危ないなあ」と危険に気付き、作業における危険な事項を確認し合い、注意力を高めましょう。



「指差し呼称」で確認しながら作業しましょう



「なにもしない場合」に比べ、「指差し呼称」をする場合には、誤りの発生率が約6分の1



平成6年(財)鉄道総合技術研究所実験より

リスクアセスメントを行い危険を排除しましょう

災害の可能性 \ 災害の重大性	災害の重大性		
	○ 軽微	△ 重大	× 極めて重大
○ 殆んど起こらない	○○	○△	○×
△ たまに起こる	△○	△△	△×
× かなり起こる	×○	×△	××

危険要因を洗い出し、どのような作業でどのような災害を受けるのか、リスクを見積もりましょう。

リスクレベルを評価して、リスク低減対策の検討を行い、対策を実施しましょう。



「ゼロ災運動」を定着させましょう

「ゼロ災運動」とは、

人間尊重の理念に基づいて、働く人々の安全と健康をみんな
で先取りしようとする運動です。

「ゼロ災運動の理念」は、つぎの3つの原則に立っています。

1. ゼロの原則 2. 先取りの原則 3. 参加の原則



関連団体トップからのメッセージ

林業・木材製造業労働災害防止協会 高知県支部長
高知県森林組合連合会 代表理事会長 中越 利茂

近年、森林組合・林業事業体は経済・社会の環境変化により、事業の多様化が進んでいる。また他産業からの林業への新規参入者で、ますます労働災害の発生が懸念される状況にある。今こそ「安全はすべてに優先する」を最大の使命とし、基本動作と正しい手順を守った作業で0災害を目指し、労働災害のない安全で快適な職場づくりを推進していきます。

四国森林管理局請負事業体連絡協議会 会長 田岡 信男

労働災害を防止するためには、経営トップと働く一人ひとりの強い意志・普段の努力が不可欠です。

高知県下における林業での災害発生状況を踏まえ、それぞれの職場において「林業2017ゼロ災運動」を実践し、労働災害ゼロを目指しましょう。

高知県素材生産業協同組合連合会 代表理事 福留 治實

本年1月1日から12月31日までを「林業2017ゼロ災運動」と設定し、関係各位相互協力のもと死亡災害の絶滅、労働災害の大幅減を達成することと致しました。

つきましては、会員自らが先頭に立ち、「事故・災害」は職場から発生させないとの強い思いを持ち、全従業員に対し注意喚起、並びにきめ細かな指導をお願いする次第です。

経営トップによるゼロ災宣言

経営トップによるゼロ災宣言を行い、事業場に掲示することなどにより周知しましょう。

【記載例】 本社内（現場）に掲示し、労働災害をゼロに近づけよう。

林業2017ゼロ災宣言

林業2017ゼロ災を達成するための取組

- ① 定期的に安全パトロールを行う。
- ② KY活動、リスクアセスメントを徹底し、危険を排除する。
- ③ 安全な保護具の装備と着用を徹底する。

わが社は、ゼロ災を達成するため、上記の取組を強化します。

平成29年〇月〇日

会社名
代表者

Safe work KOCHI

林業2017ゼロ災運動（平成29年1月1日～12月31日）

さあ、「ゼロ災運動」
に取り組もう！



(c)須崎市2013承認番号633